

あこう社協だより



障がい者週間 (12月3日~9日) 特集

みんなで応援! パラスポーツ

皆さんは、「パラスポーツ(障がい者スポーツ)」を見たことはありますか?赤穂市内でも、身近な場所で日々練習を重ねている方がいます。

今月号の特集では、そんなアスリートの皆さんを紹介していきます。

令和元年度福祉作文入選者決定!

福祉作文 各部大賞作品 6P

ひょうご県民ボランティア活動賞受賞

生活支援コーディネーター日誌 9P

生活支援サポーター養成講座受講者募集

歳末たすけあい運動 10P

まち発見!あこう福祉ニュース 11P

あこうのホットな人No.30 12P

水泳

自分への挑戦



ゴールボール

静かなる格闘技



S T T

素速い音のラリー

(サウンド・テーブル・テニス)



己の限界への挑戦 ～0.1秒でも早く～

光都SC (スポーツクラブ)

2008年に障がいのある方が安心して競泳ができるクラブとして、ふれあいスポーツ交流館(たつの市)に設立されました。

水曜2時間、土曜・日曜は4時間の練習を行い、自己目標の達成に向けて日々練習を行っています。

また、個々に合った健康水泳を楽しんでいるクラブ会員の方もおられます。

現在、会員は34名。全国障がい者スポーツ大会に兵庫県代表として半数の選手が選考されています。

赤穂からは3名以外に中学生が2名入会しており、大会出場を目指し、練習に励んでいます。



問合せ先

ふれあいスポーツ交流館
☎ 0791-58-1313
FAX 0791-58-1323



吉川真澄さん (東浜町)

吉川さんは、脳出血の後遺症で右半身に障がいがあり、左手と左足で効率よく水をつかみ、前に進んでいきます。

水泳を始めたのは、今から3年前。「始めた頃は、水に入ると浮力が体が浮くためバランスを保つのが難しく、怖かった」と話します。

その後努力を積み重ね、昨年『日本パラ水泳選手権大会』に出場。50m自由形で大会記録を大幅に更新し、優勝しました。今年も50m自由形で自身の大会記録を更新し、見事2連覇を果たしました。

「今後の目標は、海外選手も参加する『ジャパンパラ競技大会』に出場することです。そのためにも、練習を続けていきたい」と笑顔で話していました。

「目標はパラリンピック出場」と話す古川さんは、2015年に仕事中の事故で右上腕を切断しました。その後リハビリと運動を兼ねて、水泳を始めたとき、光都SC末政博文コーチの目に留まり、クラブへ入会しました。

左手だけで真つ直ぐ泳ぐのは難しく、泳ぐ練習以外にも体幹や筋力を鍛えるなど、競技に打ち込んでいます。古川さんは「自分のタイムが少しずつ速くなっていく。そうして今までの自分を越えます」と話し、昨年の『日本パラ水泳選手権大会』では、50m背泳ぎで準優勝。

雪辱を誓った今年は、50m背泳ぎで優勝、100m背泳ぎで準優勝に輝きました。さらなる高みを目指します。



古川修哉さん (大町)



春井恒行さん (加里屋)

家族が「小さい頃から水泳が好きで、いつも夢中になっていた」と話す春井さんは、小学生から本格的に水泳に取り組み始めました。高校生になり、末政コーチとの縁もあって光都SCに入会しました。以後、週3回のクラブでの練習に加え、赤穂市水泳協会の競泳コースで週2回練習を行い、水泳漬けの日々を過ごしています。

現在、日本知的障害者水泳連盟の『育成選手』として認定され、注目を集めています。

今後については、「より選考基準が厳しい強化選手に認定され、パラリンピックに出場したい」と力強く話していました。家族の献身的なサポートを受けながら、日本のトップを目指します。

見えなくても感じる“仲間”

「ゴールボール」は、鈴が入ったボールを目隠しして投げ合い、相手ゴールを狙うスポーツで、視覚障がいの有無にかかわらず楽しめます。

コートは18m×9mで、バレーボールのコートと同じ広さです。1チーム3人で編成され、3人で協力して幅9mのゴールを守りながら、1つのボールを投げ合い、得点を競います。

2014年からプレーしている目木さんと大河内さんは、視覚障がいがあります。

目木さんがゴールボールを始めたきっかけは、競技の体験会に誘われたことでした。初めての感想は「正直怖いな」というものでし



左：目木 伸幸さん（尾崎）
右：大河内健一郎さん（大津）



ボールとアイシェード（目隠し）。ボールには鈴が入っており、その音でボールの位置を把握します。

目木さんの誘いを受け、練習仲間に加わった大河内さん。競技の魅力を聞くと、「一番に『チームプレー』を挙げました。「目隠しをしているので、仲間は見えません。それでも、床や手を叩く音、声かけで自分の位置を知らせたり、練習を重ねていくと、見えない世界のイメージが

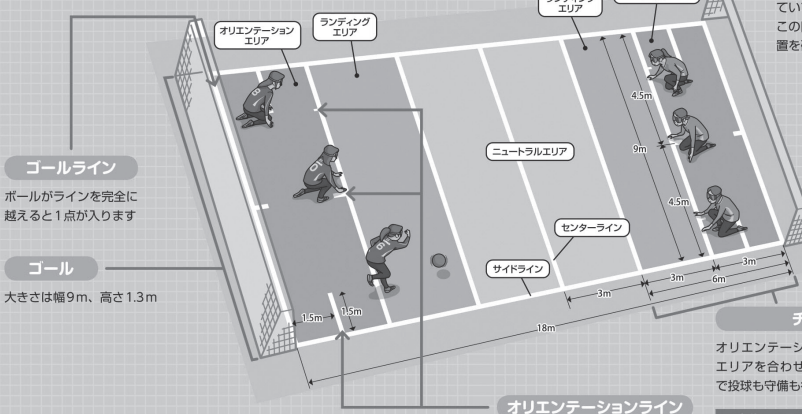
た。それもそのはず。投げ合うボールの重さは、バスケットボールの約2倍。それを横になり、体を壁にして受け止めます。「最初は、ボールがどこから来るのか、体のどこに当たるのが全く分かりませんでした。体験会の後、姫路の体育館に何回か通ったことで、少しずつボールや相手の動きを感じるできるようになりました。ゴールが決まった瞬間、とても興奮します」と話します。

やってみよう！ゴールボール

ゴールボールは、目隠しをすることによって視覚障がいの有無が関係なくなり、同じ条件で競技を楽しむことができます。視覚以外の全感覚を使い、ゴールを狙いましょう！

❖使用するコート・主なルール

コートの広さは、18m×9mで、6人制バレーボールのコートと同じ広さです。



正しい投球の例



ゴールボールでは、攻撃時、基本的にはボールを転がしますが、投げたボールが「攻撃側エリア」と「ニュートラルエリア」の両方の床でバウンドしなければ反則となります。反則を犯してしまうと相手チームにペナルティスローが与えられます。

共有できるようにになります。それが面白いです」と話します。

そんな2人の目標は、全国大会出場。そのためには、練習のお手伝いをしてくれる方が必要です。ぜひ練習会に参加し、生でプレーする姿を見てください。

ゴールボール練習会

- ① 毎週水曜日 午前9時～正午
- ② 毎月第2土曜日 午後1時～4時
- ③ 毎月第4土曜日 午後1時30分～5時

場所は、①②が赤穂地区体育館
③は飾磨体育館（姫路）

音だけを頼りにスマッシュ



三谷勝彦さん（塩屋）

「STT(サウンドテーブルテニス)」は1930年代に視覚障がい者のリハビリとして始まったものと言われていました。一般的な卓球と違うのは、ボールをネットの下に通し、転がしながら打ち合うことです。使用するボールは、一般的なピンポン球に小さな金属球が入っており、転がると音が鳴ります。それを、ラバーの付いていないラケットで打ち、打球音とボールが転がる音を頼りに位置を把握し、打ち返していきます。

三谷さんは先天性の病の影響で、生まれた時から目が見えません。幼稚園から神戸にある盲学校に通い、マッサージュ師の修業を経て2005年に赤穂へ戻ってきました。

本格的にSTTを始めたのは、2010年。市内の視覚障がいのある方と知り合い、練習

会に誘われたことがきっかけで、競技の楽しさを知りました。そのわずか4年後には、兵庫県代表として、長崎県で行われた全国障がい者スポーツ大会に出場し、銅メダルを獲得しました。その後も、県内の大会では毎回上位に入賞。先日行われた近畿大会においては、団体戦で見事3連覇を果たしました。

三谷さんは、「まだ近畿大会の個人戦では、いい成績を残せていません。自分より格上の選手を倒し、もう一度全国大会にも出場したい」と意気込み、練習に励んでいます。また、「子どもから大人まで、障がいの有無に関係なく楽しめるスポーツです。交流会や練習会もあるの



今年行われた「赤穂STTオープン大会」では、惜しくも準優勝でした。

で、ぜひ体験してみてください」と呼びかけています。

STTの練習や試合には会場のセッティングやボール拾い、審判など支えてくれる方が必要です。また、アイマスクを着用しなくても楽しめます。ぜひ、交流会や練習会に参加し、STTを体験してください。

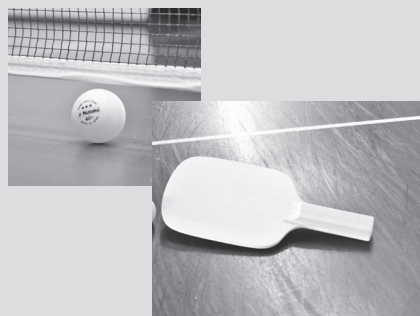
やってみよう!STT

STTは、得点のカウント方法などは卓球と同じですが、使われる道具が違います。そのポイントをご紹介します。

ボールとラケット

ボールは直径40mmで金属球が入っています。STTでは、ネットの下(42mm)を通して打ち合いますが、そのすき間は2mmしかありません。

ラケットは、卓球とほぼ同じ大きさですが、木製でラバーが付いていません。



STT専用卓球台

球を転がすため、継ぎ目はありません。台のエンドとサイドに高さ15mmのフレームが付いています。自分の打ったボールが打ち返されずに、相手のエンドフレームに当たることで得点になります。



●STT交流会

毎月第3土曜日 午後1時30分～4時
(12月から2月は休み)
場所は、赤穂地区体育館

●STT練習会

毎月第1土曜日 午後1時～4時30分
毎週水曜日 午後1時～4時30分
場所は、赤穂地区体育館又は福祉会館
(使用状況により日程変更有)

令和 福祉作文入選者決定!!

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集しましたところ、小学生、中学生、高校生、高校生、一般の方より、計632名の応募をいただきました。

慎重な審査の結果、次の方々が入選され、12月7日(土)に開催された「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で表彰されました。

(各部門大賞・特選・入選の方のみ)

※敬称略

【小学生の部】

大賞 市下 宙弥(尾崎小5年)

特選 引本 幸乃(赤穂小6年)

入選 杉山 和子(御崎小6年)

藤田 莉沙(塩屋小5年)

佳作 中谷 真綾(赤穂小6年)

伊東 沙耶(城西小6年)

児玉悠希南(塩屋小6年)

山本 純菜(赤穂西小6年)

鍋島 帆翔(尾崎小5年)

元谷 光伽(御崎小4年)

中嶋 望愛(坂越小4年)

尾崎ななみ(高雄小6年)

陰山 莉世(有年小5年)

柳 志歩(原小4年)

【中学生の部】

大賞 河村 凜(赤穂中3年)

特選 近平 拓也(赤穂東中1年)

入選 東 愛音(赤穂西中3年)

横峯 海斗(赤穂西中3年)

佳作 小西 涼介(赤穂中2年)

大川 希姫(赤穂西中3年)

片山 京優(赤穂東中1年)

岡本幸利音(坂越中1年)

三木 唯愛(有年中1年)

【高校生以上の部】

大賞 綾部 奈緒(赤穂高1年)

特選 和田 彩加(赤穂高2年)

入選 下脇 美都(赤穂高2年)

山本 結依(赤穂高2年)

佳作 出口 愛悠(赤穂高2年)

ご応募いただいた皆さまには、深く感謝申し上げます。入賞作品は福祉作文集にまとめ、市内の学校や各福祉施設にお届けするほか、社協でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。

◆小学生の部 大賞◆

『わすれないよ、思いやり』

尾崎小学校5年 市下宙弥



この夏、お母さんが声帯ポリープの手術を受けました。おしゃべりが大好きなお母さんが五日間、声を出してはいけなくなつて、いろいろと困つたことがでてきました。

一つ目は、いつもだと何気なく合いづちをうつてくれるので、気持ちが変わり合えるのに、声を出してはいけなかったので、お母さんの気持ちも理解することがとても難しかったです。二つ

目は、短い文だとジェスチャーで何とか分かつたけれど、長い文だと筆だんで話さないといけなかつたことです。三つ目は、お母さんの買い物にいつもだれかが一緒に行つて、話せない

ことを説明しないといけなかつたことです。

お母さんは、もつと困つたのではないかなと思つて、インタビューしてみました。すると、たくさんできてきました。まず、言いたいことが伝わらないと不安になつたり、いらいらしたりました。次に、周りの人は、お母さんが話せないことを知らないの、買い物に行くと話しかけてくれるのですが、話せず、無視したつて思われていたらどうしよう…。と不安で、一人で外出するのが怖くなつたそうです。そして、お母さんは少しだけ手話ができるのですが、よく達周りの人が使えないと、全く通じないことに気づいたそうです。

福祉という言葉を辞書で調べると、「人々の幸せ、世の中の幸福」という意味でした。ぼくのお母さんは、たつた五日間だけでしたが、話せないことでたくさん不安になつていたし、ぼく達家族も、たくさん困ることがありました。おなか

すやつえを使つていたら、足が不自由なのかなと分かります。でも、今回のぼくのお母さんのように、見た目では分からないけれど、困つていたり、不安な気持ちで過ごしている人は、きつとたくさんいると思います。

そこで、ぼくは、どうしたら世の中の人が幸せに過ごせることができるのかを考えました。まずは、みんなが手話を学んだり、困つてい

かけ合うことで、みんなが幸せに過ごすことができると思います。

今回ばかりは、改めて人を助けようと思ったら、相手の気持ち想像したり、助ける方法を学んだりすることの大切さに気づきました。これからも、温かい心を忘れずに過ごしたいです。

◆中学生の部 大賞◆

『言葉の大切さ』

赤穂中学校3年 河村 凜



「え、お前顔赤すぎやろ。りんご病や！」

こう言われたのは小学二年生の時。私が授業で発表していた時友達に言われました。最初私はなんのこともかさっぱり分かりませんでした。顔が赤くなっていた正体。それは赤面症というものでした。赤面症とは他

人と対話する時、一斉に注目を浴びた時顔が無意識のうち真つ赤になる症状のことです。

小学校に入学し、授業では発表するのも大好きで何も意識していなかった私ですが実は発表中ずつと顔が赤くなっていったそうです。さすがにショックでした。まさか顔が赤くなっていると

は思っていないと特に緊張もしていないのに赤くなる意味が私には分かりませんでした。きっと友達は悪気はなかったと思うしこんな一言で私は傷つかないと思っ

ていたでしょう。しかしその発言は私の心に強く刺さり、それから私は発表する度に顔を気にするようになりました。こっそりズボンのポケットに鏡を潜め、発表したあとに顔を確認した時もありました。確かに顔は赤くなっています。意識のしすぎで症状はひどくなるばかり。ついには対人恐怖症になってしまい、周りの視線がこわく人の前に出ることもこわくなりました。特に音楽の歌のテストではとても緊張し、呼吸もうまく出来ません。頭の中

は真つ白、顔は真つ赤。私はとても嫌でした。しかしこの症状をどうする事もできませんでした。少しでも赤くなるのを防ぐため、私は発表するのを避けたりなるべく人の前には最低限出ないようにしていました。

そして中学校に入学。新しい環境に新しい友達。誰私の赤面症のことを知っている人はいない！自分なら大丈夫！と言いつつ聞かせ過ぎていました。新しいクラスになり一人一人自己紹介をする場面がありました。案の定私は赤面してしまいました。

「あー、またなつてもた。」と、自分で自分を責めました。中学一年生の時は授業中もほとんど発表せず発表する時は必ずマスクをつけみんなになるべく赤面がバレないようにする生活を送っていました。

しかし、中学二年生の冬。私を変えるきっかけがありました。来年度の生徒会を決める生徒会選挙でした。自分が目立ちたい気持ちなので立候補したい気持ち。山々でした。でも立候補すると全校生徒の前で演説

しなければいけません。「こんな無理に決まってる。だって今までこんな大勢の場から逃げてきたんやで？こんな自分が生徒会になったって赤面してただしんどいだけやし前にでてしゃべれるわけないやん。」そう思っていました。その反面、

「もしかしたら自分を変えらるきっかけになるかも！」という感情が芽生ええました。そして友達にも思い切って相談してみました。すると、

「頑張ってみる価値はあると思う！赤面したっていいやん、気にせんでええ！誰もそんなとこ見てない！うちら支えるから！」私はこの言葉に涙が出そうでした。今まで赤面でバカにされてきた私が友達の言葉でなぜかとても気持ちが楽になりました。私は、

「よっしゃ、頑張ってみよ。失敗しても挑戦した事に意味がある。」と、前向きな気持ちを持ち思いきって立候補しました。すると、見事当選し今では生徒会幹事として学校を引っ張っています。立候

補してよかった、と心の底から思います。

まだまだ大勢の人の前に出る事は苦手でも赤面も治っていないとパニックを起こす事もある私ですが私の傍では常に友達が支えてくれています。わたしを大きく変えてくれた友達。本当にありがとう。

やはり生徒会に入ると、大勢の人の前に入る機会が多くなります。だから私は、「緊張しているんだ」と堂々とアピールする事や身近な人には「私は赤面します」と打ち明けるようにしています。これをするだけで気分持ちが楽になります。

もしかしたら私のように、赤面症、対人恐怖症に悩んでいる人がいると思います。そのときは勇気を出して、私はみんなの前に出ると顔が赤くなるんだ、緊張してしまうんだということを打ち明けてみてください。赤くなつてもいいんだ、これが自分の個性なんだ、と自信をもってください。きっと周りの人達も分かってくれます。

そして赤面症ではない人達へ。もし周りに顔が赤く

なっている人がいても、「顔赤いな！」などは決して言わないでください。その一言で言われた本人は大きく傷つき、人生を変えてしまいかもしれません。口に出さないで心に秘めていてくれると私たちは嬉しいです。

赤面症などに悩んでいる人たちが、私の発表を聞いて、「赤面症に悩んでいるのは自分だけじゃないんだ」と少しでも楽になってくれると嬉しいです。

◆高校生以上の部 大賞◆

『あなたかい社会であるために』

赤穂高等学校1年 綾部 奈緒



私が朝、学校へ向かっているといつも、

「おはようさん。いってらっしゃい。」

と、声をかけてくれるおば

ちゃんがあります。そのおばちゃんは、地域の防災訓練でまだ小さくて、退屈していた私に飴をくれたり遊んでくれました。

そのおばちゃんがある日、腰を痛め、外出できなくなり、それを聞いた私の母は、おばちゃんの買い物を買った。そのとき、私は母をとてかっこのいいと思いましたが。私の家族が引越したときの頃、そのおばちゃんにはとてもお世話になったと母は話していました。母の姿を見て、私も大人になって、出来る事が増えたら、おばちゃんが困ったときには助けたいと思いました。

私の地域には、たくさんのお年寄りの方がいます。今、日本では高齢化が進んでいます。町や、電車でも、お年寄りの方を多く見かけます。私が友達と電車で出かけたとき、電車を降りる多くの人の中に、リュックが全部開いているおばあさんがいました。私は、あ！開いている！と思いましたが。それより前に友達が、さっとおばあさんのもとへ

行き、「かばんが開いていますよ。閉めますね。」と、優しく声をかけていました。

私はそんなとき、見ていだけの事が多いです。困っている人がいると、助けたい！とは思っても、その瞬間に迷惑ではないか。もし間違えて余計なことをしてしまったらどうしよう。などと考えてしまいます。

障がいのある方やお年寄りの方が、何かして欲しい時、助けて欲しい時、気づける人はまだ少ないのではないかと思います。私が電車に乗るときには少なからず心がけていることがあります。それは、長い間電車に乗るときでも、音楽を大きな音で聞いたり、携帯ゲームに夢中にならないようにすることです。長い間電車に乗っていたら、荷物も増えてきて、足も疲れてくるので、すいていたらもちろん座ります。でも、なるべく、友達と話していたり、景色を見ます。座っていて、もしもお年寄りの方や障がいのある方、妊婦さんが電車

に乗ってきたとき、すぐ気づいて席を譲ることができません。電車は、さまざまな人が利用します。だからこそ、いつも、周りの人のことを考える必要があると思います。

私がたまに見るテレビ番組で、芸人さんやタレントが障がいのある方や義足の方と、色々な福祉問題について意見を交わしていくバラエティーがあります。知りたいけど聞きにくい質問をタレントがし、それに対する、障がいのある方の答えや本音を聞くことができます。その番組を見ていると、今まで知らなかったことや、障がいのある方にとって何が一番欲しいことかなどを学ぶことができます。その番組の中で、私が特に印象に残っているのが「見えない障がい」というテーマです。見えない障がいには、精神障がいや、臓器の内部の障がい、免疫の障がいなどがあることを知りました。実際にそのような障がいを抱えている方々は、「見た目では分からないから、理解してもらえない。」

と、語っていました。見えない障がいを抱えた人が、学校や職場、社会の場で本当のことを理解してもらえず、我慢して苦しんでいるとすれば、それは、これから考えていかなければならない一つの福祉問題だと思います。元氣そうだから、若いから大丈夫そうだと見た目で判断するのではなく、見えない障がいというものがあることを、心に置いておくのも、大事だと思います。

これから、誰もが住みよい、あなたかい社会であるために、一人一人が周りの人のことを考え、困っている人がいたら、何か自分ができることを。という思いやりの心をもち、そして実際に私にも足りない、思いやりを行動に移すことが大切だと思います。

私は今は高校生だけど、これからもっと社会に出ていく機会が増えると思うので、さまざまな福祉問題を人ごとだと思わず、もともと福祉についての知識を学んで、人助けができる立派な大人になりたいです。



令和元年度 ひょうご県民ボランティア活動賞 受賞おめでとうございます!

土筆会

11月12日(火)、令和元年度ひょうご県民ボランティア活動賞の表彰式が兵庫県公館で行われ、赤穂市ボランティアセンター登録グループの「土筆会」が受賞されました。

平成12年3月に結成。現在会員は19名で、週2回千種の苑で施設利用者の入浴誘導やドライヤーかけの介助ボランティア活動をしています。施設の盆踊りやクリスマス会などの行事にも積極的に参加され、利用者との交流も深まっています。

また、各種募金活動や市内の祭りの手伝いなど多岐に渡って活動され、この度表彰されました。

県民ボランティア活動賞とは?

県民が行う、または県民のために行われる自発的で自律的な活動、ボランティア活動を通して地域コミュニティの形成に功績のあった、個人や団体に与えられます。

1.17ひょうごメモリアルウォーク2020 参加者募集!

- 日程 令和2年1月17日(金)
午前7時福祉会館出発 午後5時30分帰着(予定)
- 内容 「1.17ひょうごメモリアルウォーク2020」の5kmコースをゆっくり歩いて、「1.17のつどい」に参加し、震災を風化させず語り継ぎます!
- 募集人数 20名(定員になり次第締切)
- 参加費 ひとり1,000円(昼食代は別途自己負担)
- 申込締切 12月26日(木)
- 申込先 下記までご連絡ください。



生活支援コーディネーター 活動日誌

「ゆっくりと子育てについて話そう」

～季節の絵本と製作の会～

10月29日(火)、上仮屋公会堂において「季節の絵本と製作の会」が開催されました。この会は、未就園児とその親を対象としており、元保育士の松本あゆみさんを中心に、製作活動や絵本の読み聞かせ、わらべうた遊びなどをして過ごしています。

子育て中の方からは、「大人数だと、ちょっと落ち着かない」と話す人がいますが、この会は口コミで参加者が集まっているため、少人数かつ知っている人がいる安心感があります。

松本さんは、「子育ての悩みを抱えている方は多いが、それを話せる場所になれば」と話し、参加を呼びかけています。

(会の問合せ先) ☎070-4485-6934

メール ayutahomasin@gmail.com



開催日: 毎月第4火曜日
午前10時30分～正午
開催場所: 上仮屋公会堂
参加費: 100円(製作材料代)

「地域の宝物」さがしにご協力をお願いします。「うちの地域でこんなことしているよ」などの情報を、ぜひ社協まで連絡してください。生活支援コーディネーターが行かせていただきます。

〈連絡先は下記までお願いします〉

合言葉は『おたがいさま』 生活支援サポーター養成講座 受講者募集

生活支援サポーターとは、日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いを、地域の方の中から“できる人が” できるときに “できることを” を行う支援活動です。
あなたの空いている時間を生かし、『おたがいさま』の輪を一緒に広げましょう!

日	時	内 容	講 師
令和2年 1月10日(金)	9時30分 ～ 11時30分	高齢者や障がい者に関する施策 なぜサポーターが必要なのか?	市社会福祉課 地域包括支援センター 他
1月17日(金)		高齢者の心と身体について	デイサービス「ふれあいの家 わたしんち」管理者
1月24日(金)		障がいのある方との接し方 自分にあった活動を見つけよう	障がい者基幹相談支援センター 社協 他

- 場所:総合福祉会館 2階研修室
- 定員:20名
- 締切:12月27日(金)
- 対象:市内在住で、活動に興味のある方
- 参加費:無料
- 申込み・問合せ:下記までご連絡ください

あなたのやさしさを善意の窓口へ——
善意銀行だより
あたたかい善意をありがとうございました
預託状況 (10月30日～11月26日受付分)



●委任預託

(敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
加里屋中洲	小 寺 輝 子	100,000	亡夫(康雄) 満中陰志
三 樋 町	稲 田 歩	50,000	亡母(古林京野) 満中陰志
	匿 名	5,000	福祉のために
	ダイネン(株)赤穂営業所	10,000	大感謝祭売上の一部を
	赤穂市いずみ会	5,000	しあわせフェスティバル売上金を
	赤穂市社協職員一同	26,695	しあわせフェスティバル売上金を
	しあわせフェスティバル	794	善意の貯金箱
	匿 名	5,000	車いす等借用お礼
加里屋中洲	株式会社D・Sあさひ	金一封	福祉のために
	ボランティアグループ てんとうし	1,227	しあわせフェスティバル売上金の一部を

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

賛助会費 ありがとうございます

(敬称略)

【個人】 陰山 貞子

福祉の拠点をみんなで支えてください。

(法人会費:5,000円、個人会費:2,000円、一般会費:500円)
賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

心配ごと相談所のご案内

(12月11日～1月8日まで)

- 【一般相談】 12月11日(水) 12月25日(水)
1月8日(水)
- 【弁護士相談】 (要予約) 12月18日(水)
- 【カウンセラーによるこころの相談】 (要予約)
12月25日(水) 1月8日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。
※相談は無料です。
問合せは、下記までご連絡ください。



つながり ささえあう みんなの地域づくり

～ 歳末たすけあい運動 ～



「歳末たすけあい運動」は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡(推進)協議会、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。

皆さまから寄せられた募金は、「三世代交流もちつき大会」、「友愛訪問事業」、「要保護・準要保護世帯児童生徒お年玉」、「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」、「ひとり親家庭ランドセル購入助成」、「ひとり親家庭中学入学時体操服購入助成」などの事業へ配分されます。令和元年度は750万円を目標に募金を実施します。皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。



みんなの思いを被災地へ！

11月1日(金)、赤穂ボランティア協会会員と赤穂市社協職員で「令和元年台風第19号災害」の義援金を募るため、播州赤穂駅前において街頭募金活動を行いました。

義援金25,770円が集まり、中央共同募金会を通じて、被災された方々の支援に役立てさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



レクリエーションで生活にハリを！

10月30日(水)、「ふれあい・いきいきサロン実践講座」が開催され、30名が参加しました。講師の方から繰り出されたレクリエーションの数々を、参加者はそれぞれの地域に持ち帰り、みんなを笑顔にする伝道師となります。皆さんの生活にも、ぜひレクリエーションを取り入れましょう！

まち発見!

あこう福祉ニュース



ご来場ありがとうございました!

11月17日(日)、「第37回しあわ・せフェスティバル〜フクシふれあいまつり〜」(赤穂ボランティア協会共催)を開催し、約3,000の方が来場しました。

当日は、ボランティアグループによるステージでの催しや福引、模擬店やアキュラシー大会などが行われました。

また、今年は赤穂高等学校定時制による「赤定フェスティバル」が同時開催され、ゲームや缶バッジづくりなどの出店があり、にぎやかな一日となりました。

みんなのやさしさ集まりました



塩屋小学校(主婦の店塩屋店)

市内の各地域で赤い羽根共同募金の街頭募金運動が実施されました。

今回もたくさんの笑顔とやさしさが集まりました。ご協力いただきました皆さま、あたたかいご支援ありがとうございました。



高雄小学校(ふるさとまつり)



◎市内の老人ホームを、訪問した時の事です。懐かしい童謡や、唱歌を歌い最後に『故郷』を全員で合唱しました。寝たきりの入所者の方が、ベッドで私の手を握りながら、「一緒に歌詞を間違っことなく最後まで歌いました。私は、そのお姿を傍で見ると、一緒に歌えた事に感動し、泣いてしまいました。亡き母を思い出し、ひと時でもその方と歌を通して共感できた事に感謝し、エネルギーをいただきました。楽しいひと時でした。(あーちゃん)

『ちよっといい話』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。2000字程度にまとめてください。※送付先は、下記をご覧ください。

～あここの「ホツ」とな人～ No.30

今回は、市内で作業療法士として働きながら、認知症について理解を深めてもらうためのキャンペーン「RUN (ラン) 伴あこう」の実行委員長として活動されている鍛冶さんに、お話を聞きました。

Q. 活動を始めたきっかけは？

A. 5年前、兵庫県で開催された「日本作業療法学会」に参加したとき、広島県の方の発表で、初めてRUN伴のことを知りました。当時、まだ兵庫県でもRUN伴が始まったばかりということで「赤穂でもやってみよう！」と思い、活動を始めました。

Q. 活動をしていてうれしかったことは？

A. 当初は参加者も少なかったですが、年々さまざまな職種の方たちが賛同し、協力してくれました。今では約100名の方が関わってくれ、それぞれの力が合わさり、イベントを実施しています。そうして少しずつ輪が広がっていくことが、うれしいと感じています。

Q. これからの目標は？

A. 赤穂市内には認知症の当事者団体はありませんが、介護保険事業所や認知症カフェなどを通じ、もっと認知症のある方が主体的に参加できるように、働きかけていきたいです。また、子どもから高齢者まで一緒に楽しめるような仕掛けを作って、多世代に対して認知症をもっと身近に感じてもらえるまちにしていきたいと考えています。



RUN伴で赤穂を明るく

鍛冶 実さん



■ 編集後記 ■

今年も早いもので残り1カ月を切りました。日に日に寒さも増し、我が家の電気代は右肩上がりに上昇中です。子どもたちは義士祭やクリスマス、冬休みと楽しいイベントが盛りだくさんで、早くもテンションMAXで盛り上がってます。今年こそは、大掃除を早く済ませて、年末年始は子どもたちと楽しく過ごしたいと思います。(み)



赤穂市社協

検索

ご意見・問合せは

ホームページもぜひご覧ください！

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会
〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397
FAX 0791-45-2444

E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp



facebookを
始めました！

